

安藤潤子先生のボタニカル ビーズステッチセミナー

ビーズfriend
掲載



安藤 潤子
Junko Ando

ボタニカルビーズアートステッチディプロマ講座
カリキュラム考案 兼レッスン作品デザイナー

神奈川県生まれ。玉川大学文学部デザイン専攻卒業後、パッケージデザイナーとして商業デザインに携わる。その傍ら、現代美術に傾倒して、商業美術の世界から転身、ギャラリー勤めを経て現代美術の展覧会運営、キュレーション。地方の文化芸術活動の拠点となるホール、美術館等建設のコンセプトメイクにも携わる。現在は「UNDEUX(アンドゥ)ビーズ教室」主宰。主に針と糸で紡ぐアクセサリー「ビーズステッチ」の技法の作業分析、キット開発及びカリキュラム作り。そして教室運営、実際に指導を担当している。また、百貨店などでのオリジナルデザインのアクセサリー販売、そして様々なビーズアクセサリー専門誌より依頼を受け作品提供も多数。ビーズアクセサリーのデザインを始めた頃から「草花」をテーマとし「身に着けられる美術作品」としてのアクセサリー創作をライフワークとしている。書籍『小さなビーズステッチジュエリー』(マガジランド刊)監修、書著『植物を編むビーズステッチ ボタニカルデザインのアクセサリー』(河出書房新社刊)『マルチホールで作る大人ビーズステッチアクセサリー』(ブティック社)。

Botanical Seminar



青い花の
ラリエッタ風
ネックレス

デザイン / 安藤 潤子

青と茶の組み合わせは「アズーロ・エ・マローネ」と言われ、イタリアの伊達男たちが愛する洒脱な色の組み合わせです。アクセサリーにこの色の組み合わせを取り入れて、ピリッとスパイスを効かせ、リーフグリーンを加えることで、女性らしい大人なデザインに仕上げました。小さい実にはカット入りのバタフライビーズを使用。揺れるたびにキラキラ輝きます。また、少し幅広の珍しいダガービーズで陽気な花モチーフを仕上げました。複雑になり過ぎないモチーフ、繰り返し楽しめるデザインを心がけました。



〔仕上がりサイズ〕
約50cm+アジャスター

標準価格 **4,290** 円 税込